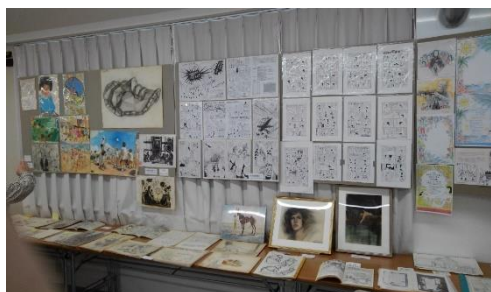


「まつだたえこの世界」展が開催

4月8、9日の2日間、神戸学生青年センターで「まつだたえこの世界」展が行われた。漫画家松田さんが残した連載漫画の原画をはじめ、幼少期からのデッサンや水彩画、様々な社会運動団体の会報やエッセイ、文集など数多くの作品が会場に所狭し、と展示されていた。

松田さんは長く摂食障害と闘いながら、常に弱い立場の人たち



に寄り添い、差別に対する憤り、反戦平和への強い思いからさまざまな活動でつながった人たちや、小学校、中高、大学の同級生も来場。両日合わせて200名を超える参加者で大賑わい。作品を丹念に見ると2時間以上もかかるため、2日にわたり参加した方もあった。

8日午後の「思い出を語る会」は親交の深かった光明寺（兵庫県神崎郡）住職のお話しに始まり、参加者全員がそれぞれの思い出を話し合



った。（写真ご参照）9日は2回にわたり、松田さんオリジナルの紙芝居4作品を肉声付きで大スクリーンに上映。この紙芝居は過去の芦屋「九条の会」周年行事で発表されたものだが、絵もナレーションも胸に迫るものがあり、今観ても斬新なアイデアでわかりやすい。憲法や平和など現在につながる作品。松田さんの秀でた画才にあらためて巡り会い、平和への強いメッセージを受け取ることができた2日間だった。（片岡隆記）

大江健三郎さんを悼む

「九条の会」呼びかけ人である、大江健三郎さんが3月3日に逝去された。

大江さんは2004年6月10日、井上ひさしさんたち9名の方々とともに「九条の会」呼びかけ人となられた。（その後全国各地、職場などで様々な「九条の会」が結成、私たち芦屋「九条の会」もその一つ）

大江さんは言うまでもなくノーベル文学賞受賞の日本が誇る世界的文学者。「九条の会」結成当初から他の呼びかけ人の方たちと全国と回り「子供のころの戦争体験が、日本国憲法第9条を守り活かしたいという強い思いになっている」と語られた。

大江さん亡きあと、「九条の会」呼びかけ人は澤地久枝さんお一人になってしまった。しかし、私たちは澤地さんとともに憲法九条を世界に輝かせる活動を続けることを誓う。

訃報

芦屋「九条の会」世話人の加藤啓一さんが3月3日逝去されました。世話人会では資料にもとづく情勢分析や、イベントでの面倒な役割も快く引き受けていただきました。ご冥福をお祈りいたします。

「18周年記念のつとめ」

今こそ憲法九条の挑戦

～外交によって平和を創り出す方法～

日時：5月28日（日）14時～

場所：芦屋市民センター 401室

講師：布施祐仁さん（1976年生、フリージャーナリスト、）

布施さんは20年以上にわたって日米同盟の動向を追いかけ、近年は南西諸島を廻って取材してきた気鋭のジャーナリスト。2016年自衛隊南スーダンPKO部隊の日報隠ぺい問題を暴き、現地が戦闘状態であったことを明らかにした。

（詳細は同封チラシご参照ください）